

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立揖屋小学校）

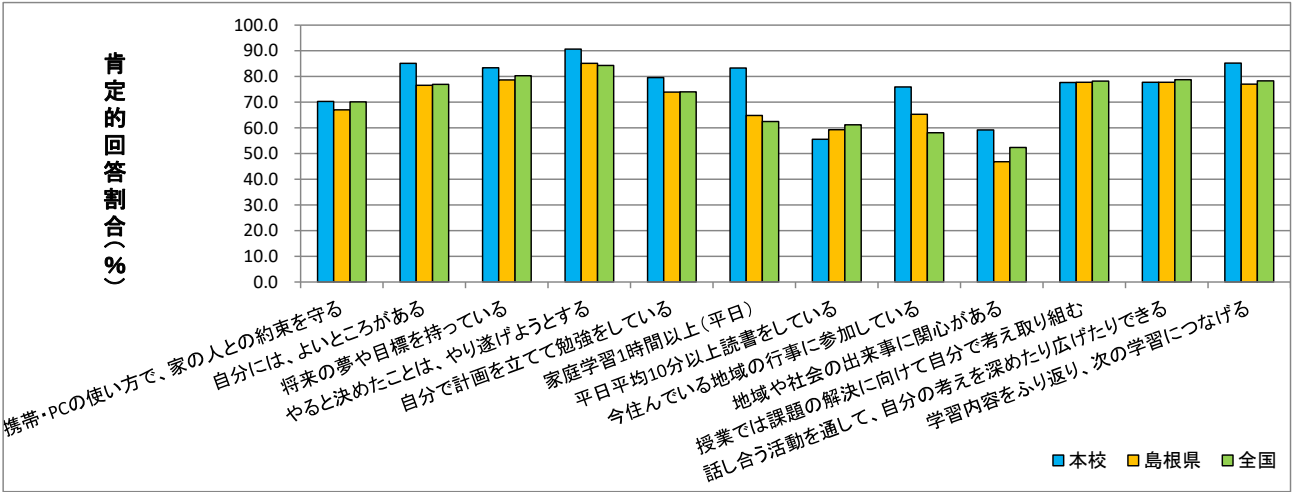
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
国語	○全般的によく理解できている。 ○昨年度課題だった「書く力」が、伸びている。 ●「読解力」に関わる問題において、中心となる語や文を見つけて「要約」することにやや抵抗がみられる。	・新聞の切り抜きを定期的に配付し、子どもが文章を読む力、要約する力、情報を整理する力を身につけ、語彙を増やすことができるようにする。
算数	○全般的によく理解できている。 ●「図形」と「測定」に関わる問題において、誤答が多い。	・「子どもの問い」から授業をつくる。 ・「学び合い」を柱にした授業づくりを心がける。

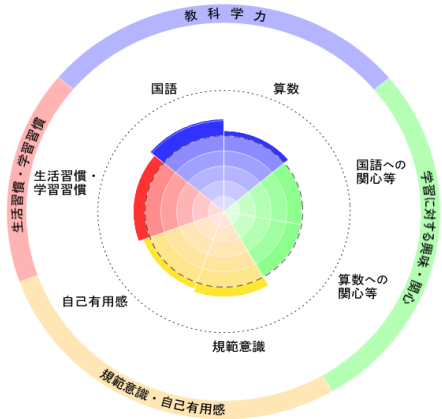
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
○自己肯定感が高い。 ○自分で目標をもち、それに向かって努力する姿勢ができています。 ●読書の時間が少ない。	・授業の中での「学び合い」の場面を大切にし、子ども同士の認め合いを育てる。 ・本だけに頼らず、「新聞記事」からタイムリーな話題や子どもの目線に立った話題を切り取り、発信し読解力や思考力などを育てる。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・自ら学ぶ子どもの姿勢や意欲を大切にした授業づくりを心がけ、学校全体(教職員)で意識を共有する。(校内研究や研修を通して)
- ・学習効果を高めるICT活用。

【受検者数】 54 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。